※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２	年次	１～２
使用教科書	公共　新訂版　共につくる未来（実教出版）						
副教材等	テーマ別資料　公共（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんが生きていく現代社会について、必要な政治・経済・公共的内容を学習し、諸課題を追求、考察、解決する力を得るための学習をします。民主主義社会に生きる我々一人ひとりが公共的空間を生きる一員です。公民の一人として、今いる自国を愛し、その歴史、伝統、文化を尊重し、誇りに思えるよう願います。そして、自国を尊重しながらも、国際社会でどのように生きていくのか考察し、自国だけでなく世界の恒久平和を念願する憲法の精神のために、国際社会とどのように協調していくのか、自らの考察と探究心で表現できるようになりましょう。自らが公共的空間の一員である、という自覚をもってもらうことを願います。

２　学習の到達目標

① 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
② 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③ よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国内外の政治・経済・公共的諸課題についての内容を理解し、自ら諸課題を捉え、考察、選択、判断し、効果的に活用する技能を身に着けている。	公共的諸課題を自ら見出し、事実を基に多面的多角的に考察し公正に判断できる力や、異なる意見を持つ人に自らの考えを表現、議論をする力があること。また最終的には異なる考えの人との合意形成をする姿勢をもつこと。	現代の諸課題に対して関心を持ち、課題を設定し、考察することで主体的に解決しようとする姿勢を涵養する。民主主義社会である自国の一員であり、公共空間の一員であることを自覚し、自国の歴史、伝統、文化を尊重する態度を持ち、誇りとともに、主権者の一員の自覚のもと、諸課題に対して主体的に取り組む態度をもつこと。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	青年期とは	○青年期は人生においてどのような意味をもっているのだろうか。 ・人生における青年期の意義を理解する。 ○「第二の誕生」とされる青年期において、きみたちはどのように変化していくのだろうか。 ・青年期の特徴を理解する。	a:青年期の意義と特徴について理解している。 b:人生における青年期の意義と特徴について、p.7「Try」を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。 c:社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	自己形成の課題	○自分の欲求が実現されない場合、どう対応すべきだろうか。 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ○自分の個性は、どのようにして形成されるのだろうか。 ・パーソナリティの理論を理解する。	a:葛藤や欲求不満とその対処法、パーソナリティの理論について理解している b:望ましい自己のあり方と自己形成について、p.9「Try」を利用して、多面的に考察し、適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に、青年期の発達課題や自己形成の課題への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	職業生活と社会参加	○働くことや社会参加の意義はどこにあるのだろうか。 ・働くことの意義と社会参加の意義を理解する。 ○私たちはどのような社会を作っていくべきなのだろうか。 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。	a:職業のさまざまな意義と、職業選択と自己の生き方を結びつけて考えることの重要性について理解している。 b:さまざまな雇用形態や課題について、多面的に考察している。 c:社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	伝統・文化と私たち	○日本人の伝統的な自然観や倫理観はどのように形成され、受け継がれてきたのだろうか。 ・日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。	a:日本人の伝統的な倫理観の特徴について理解している b:日本人が身に付けるべき態度について多面的に考察し、適切に表現している c:日本人の伝統的な考え方や文化への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	古代ギリシアの人間観	○哲学者たちが追求した理想的な人間の生き方とは、どのようなものだったのだろうか。 ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する	a:「よく生きる」ことが何であるかを理解している。 b:中庸を選択するべきと考えられるのか、協働的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	科学と人間	○近代ヨーロッパで生まれた，科学的な考え方は，社会にいかなる影響を与えたのだろうか。 ・近代ヨーロッパでうまれた，科学的思考を理解する。 ・ベーコンとデカルトの考え方が近代科学の発展に与えた影響に着目させる。 ・p.20 の図２を活用して，帰納法と演繹法の違いを理解させる。	a. 新しい学問のあり方を唱えたベーコンとデカルトの考え方について理解している。 b. 帰納法と演繹法について，どのような例が考えられるかを協働的に考察・検討し，それらを適切に表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，近代ヨーロッパでうまれた科学的な考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	自由の実現	○カントとヘーゲルは，自由についてどのように考えたのだろうか。 ・自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。 ・カントが考えた自由が「意志の自由」であることに着目させる。 ・自由に対するカントの考え方とヘーゲルの考え方の違いを理解させる。	a. 自由と人間の尊厳についてのカントの考え方を理解している。 また、自由についてのヘーゲルの考え方を理解している。 b. 日常生活の中で，仮言命法と定言命法であらわされる物事にはどのようなものがあるか，協働的に考察している。 c. よりよい社会の実現を視野に，人間の自由についての先哲の考え方への深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	公正な社会をめざして	○ロールズやセンが考える公正な社会とは、という主張を理解する。 ○社会の公正とならび、正義という概念をめぐりどういう主張があるか理解する	a:ロールズの公正、センの潜在能力の拡大という考え方を理解している b:生殖医療、自己決定権という生命倫理の課題について考察し、それを適切に表現している c:社会の公正なありかたについての先哲の考え方の深い理解を通して、公共的空間を生きる人間としての在り方、生き方についての自覚を深めようとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	自由権利と責任義務	○権利と義務はどのような関係にあるのだろうか 自由・権利と責任・義務の関係を理解する ○私たち現在の人々は、将来の人々とどのような関係にあるのだろうか	a:自由・権利、責任・義務の関係について理解している b:将来世代の利益を考慮した意思決定について、多面的に考察し適切に表現している c:自由・権利と責任・義務という公共的空間における基本的原理について理解しようとし、主体的考察を行っている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	民主政治の成立基本原理	○民主政治の誕生と発展について理解する。 ○法の支配の考え方について理解する	a:政治と国家、政府という概念の理解をする民主政治が成立した経過とその基本原理について理解している。 b:社会契約説の形成 自由権の保障の経過、歴史的背景について協同的考察をしお、適切に表現できる。 c:民主主義・法の支配という公共的空間における基本的原理を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	民主政治のしくみと課題	○異なる個人の意見をどのように政治に反映させていけばよいのだろうか。 ・民主政治の意義と課題について理解する。	a:政治と国家，政府が何であるかを理解している。 b:社会契約説の形成や，自由権の保障から社会権の保障へと向かっていった歴史的背景について協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を基に，人々が自由かつ平等に意見交換のできる公共空間の実現に向けて意欲が高まっている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	世界の主な政治制度	○世界の国々ではリーダーにどのような権限を与え，政治を運営しているのだろうか。 ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度について理解する。	a:民主政治が成立した経過と基本原理について理解している。 b:政治とはどのような営みか，p.41「Try」を参考し、適切に表現している。 c:公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を基に，人々が自由かつ平等に意見交換のできる公共空間の実現に向けて意欲が高まっている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

前期・後期	日本国憲法の成立と基本的成果	○日本国憲法成立の背景の理解 ○日本国憲法の三大気温原理のりかい	a:日本国憲法の成立の背景、最高法規性の理解 b:憲法の最高法規性について適切に表現している c:憲法・法や規範についての意義、役割について主体的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	自由に生きる権利・平等に生きる権利	○憲法で保障されている自由権の内容は，どのようなものだろうか。 ・自由権の内容について理解する。 ○平等に生きる権利は，日本国憲法にどのように定められているのだろうか。 ・平等権の内容について理解する。 ○日本国憲法は人間らしい生活の実現のためにどのような権利を保障しているのだろうか。 ・社会権の内容について理解する。	a:自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解している。 ｂ：死刑制度の是非について，教科書 p.59「Opinion」を利用して，協働的に考察し，適切に表現している。 C:各種の基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	新しい人権・人権の広がりと公共の福祉	○日本国憲法では明確に規定されていないさまざまな権利にはどのような種類があり，どのような必要性から主張されるようになったのだろうか。 ・新しい人権について理解する。 ○人権と人権が衝突した場合，どのように調整すべきなのだろうか。 ・公共の福祉について理解する。	a:環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 b:忘れられる権利の是非について，多面的に考察し，適切に表現している。 c: 新しい人権について主体的に追究して,学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	平和主義と我が国の安全 今日の防衛問題	○平和主義についての解釈の変遷について ○日米安保条約と自衛隊はどのような経過をたどって生まれたのだろうか。 ○日本の安全保障政策の展開について理解する ○安保体制の役割の変化は、安全保障の観点からどのような問題点が指摘されているのだろうか。 ○こんにちの安全保障政策の課題について理解する	a:日本国憲法の平和主義の内容と日米安全保障条約が締結された背景について理解している。冷戦終了後１９９０年代以降の安全保障政策の変容と今日の課題について理解している。 b:防衛関係費と社会情勢の関係について多面的に考察している c:集団的自衛権が他国との関係でどのような影響を及ぼしているかについて主体的に検討しようとしている。我が国の安全保障と防衛について主体的に追及し課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	政治機構と国会・内閣	○国会にはどのような権限が与えられているのか、国会の役割や権限について理解する ○内閣はどのような構成でどのような権限をもっているか。 議員内閣制について理解する。	a:国会の役割や権限、運営について理解している b:国会の地位について適切に表現している c:日本の政治機構について主体的に追及して学習上の課題を意欲的に解決しようとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	公正な裁判の保障	○私たちはどのように司法にかかわっていくことができるのだろうか。 ○司法制度の在り方や司法参加の意義について理解する	a:司法権の独立や裁判の仕組み、各裁判所の役割について理解している b:違憲審査権の行使について協働的に考察し、適切に表現している。裁判員制度について多面的に考察し適切に理解している c:司法参加の意義について主体的に追及して学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	地方自治と住民福祉	○地域の政治を住民自身がおこなうために，住民に保障されている権利にはどのようなものがあるのだろうか。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。	a:地方自治の本旨である，団体自治と住民自治、地方自治の政治・経済的な課題について理解している。 b: 住民投票、地域社会の課題について，協働的、多面的に考察し，適切に表現している。 c: 住民投票について主体的に追究して,よりよい社会の実現を視野に，住民投票制度をどのように生かしていくかについて検討している。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	政党政治 選挙制度	○日本の政党政治にはどのような特徴と課題があるのだろうか。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。 ○日本の選挙制度にはどのような特徴と課題があるのだろうか。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。	a: 政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。 b: 日本の政党政治､選挙の原則の課題について，多面的に考察し，適切に表現している。 c: 政党の変遷について主体的に追究して,なぜ離合集散が繰り返されるのかといった観点から政党政治の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容	○限りある資金や資源は、どのように選択され配分されているのだろうか。 経済的な効率性・公平性の関係について考える ○資本主義経済の今日までの変遷を概観し、どのような課題があるか考える。	a:生産・分配・消費・希少性・トレードオフ、機会均等など、経済の根本的な概念について理解している。 資本主義社会の展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 b:資源の効率的配分について、効率性と公平性の観点から多面的に考察している c:経済的の効率性と公平性の関係について学習したことを社会生活に生かそうとしている。資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追及し、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	市場のしくみ 市場の失敗	○商品の価格はどのような仕組みで決定されるのか、需給曲線を通して市場メカニズムを考える○市場が必ずしも有効に機能しないのはどのような場合だろうか	a:需要と供給により価格と生産量が変化することを理解している b:市場経済における生産要素の効率的な配分や政府の施策について多面的・多角的に考察・構想する。 c:需要供給曲線のシフトの例などを意欲的に探究する。市場の効率性、公平性について主体的に考えを導き出そうとしている	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	現代の企業	○株式会社はどのような仕組みなのだろう ○現代の企業の役割と社会的責任はなんだろうか	a:株式会社の仕組みについて株主や経営者の視点から理解できる b:企業の役割と責任について協働的に考え理解し適切に表現している c:企業の社会的責任について理解し、現代企業の諸課題について主体的に解決する道筋を考察しようとする	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	国民所得 経済成長と国民の福祉	○経済活動を図る指標である GDP や GNI，NI には何が含まれているのだろうか。 ・NI から三面等価の原則について考える。 ○物価や景気の変動はなぜ起こるのだろうか。 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。	a：NI の生産・分配・支出のそれぞれの内容とともに，３つが理論的に同額になることを理解している。 b:景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

前期・後期	金融の役割 日本銀行の役割	○金融機関や金融市場が資金供給に果たす役割は何だろう。 ○金融の自由化や国際化によって，金融取引はどのように変化したのだろうか。 ・金融を通した経済活動の活性化について考える。 ○日本銀行は物価の安定にどのような役割を果たしているのだろうか。 ・様々な金融商品を活用した資産運用に伴うリスクとリターンなどについて考える。	a：・金融は，信用創造等により，家計や企業からの資金を様々な経済主体に投資することで資本を増加させ，生産性を高め，社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。 b:景気のそれぞれの局面に対処するため，日本銀行がどのような政策をとっているか，企業との関係も含めて多面的・多角的に考察，構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：金融技術の革新について主体的に追究して，それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	財政の役割と租税 日本の財政の課題	○政府は何を目的に，どのような財源を使って経済活動を行っているのだろうか。 ・財政の持つ様々な役割について考える。 ○日本の税制はどのように改革されてきたのだろうか。 ・納税者としての立場から租税の在り方について考える。	a：政府の経済政策には，効率と公正，経済成長と環境保全など，相互に対立する可能性のある目標の実現を調整する必要があることを理解している。 b：一般会計歳出について，なぜこれほど大きく伸びているのかについて協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:公平な税負担について，主体的に考えを導きだそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	戦後日本経済の成長と課題	○日本経済はどのように成長してきたのだろうか ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を，統計資料を基に考える。 ○日本経済は，どのような課題に直面しているのだろうか ・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。	a:戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 b:2000 年代以降，景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について，多面的・多角的に考察している。 c：今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	経済社会の変化と中小企業	○中小企業とは何か。大企業とはどのような点で違いがあるのだろうか。 ・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。 ○国際化や少子高齢化のなかで，中小企業が直面している課題は何だろうか。 ・社会とのかかわりに着目して，これからの中小企業の姿を考える	a: 中小企業が日本経済の発展に寄与してきた役割について理解している。 b: 日本経済における中小企業の構造的な課題について，大企業との関係や国際化の観点から多面的・多角的に考察している。 c: 社会的企業が社会問題の解決を目指して活動していることに対して興味をもち，どのような分野で活動が行えるのかといったことを主体的に追究している。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	農業と食料問題	○戦後の日本農業は，どのような政策の下で進められてきたのだろうか。 ・とくにコメの生産と輸入との関係について考える。 ○高齢化が進むなか，日本の農業が直面する課題は何だろうか。 ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。	a:農業基本法や食料・農業・農村基本法，食糧管理制度や新食糧法などの農業政策の流れについて理解している。 b:所得補償金などによって小規模農家を保護するべきか，規制緩和で大規模経営を振興するべきか，といった観点で日本の農業について協働的に考察・構想や政策判断をし，それらを適切に表現している。 c:食料安全保障について主体的に追究して，自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	消費者問題	○消費者問題にはどのようなものがあるだろうか。 ・典型的な悪質商法などの手口を学び，その対応策を考える ○消費者の権利とはどのようなものだろうか。また，契約を行う際に生じる責任とはどのようなものだろうか ・消費者行政の内容を知り，契約の権利と責任の関係を考える	a:典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。 b:消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 C:消費者の自立と自己責任について関心を深め，消費者の権利と責任に関する課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

前期・後期	公害の防止と環境保全	○産業公害はなぜ発生したのだろうか。 ・経済成長と公害問題との関係を考える。 ○循環型社会の実現に向けて解決すべき課題は何だろうか。 ・法制度の整備のほか，私たち消費者の行動について考える。	a:政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。 b:環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し，それらを適切に表現している。 c:日本の公害問題と環境政策に関する理解のもとで，今後の環境問題の解決方法について主体的に追究して，課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	労働問題と労働者の権利	○職場環境や労働者の諸権利に関して，どのような課題があるだろうか。 ・労働法の整備状況や，職場の人権保障について考える。 ○雇用や労働慣行にどのような変化や課題が生じているだろうか。 ・日本的雇用形態の変化や，ワーク・ライフ・バランスについて考える。	a: 労働基本権と労働三法の内容について理解している。 b:なぜ労働法規によって労働者の権利保護が図られているのか協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:りよい社会の実現を視野に，ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して，学習した内容を社会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	社会保障の役割 社会保障制度の課題	○日本の社会保障制度のしくみは，どのようになっているだろうか。 ・諸外国の制度との比較も含めて考える。 ○日本の社会保障にはどのような課題があるか。 ・少子高齢化が進行する中で，財源と対象を検討する。	a:社会保障の考え方を知り，それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 b: 社会保障のあり方について,税金中心のしくみと社会保険中心のしくみでどのような違いがあるか協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して，社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

前期・後期	国際社会と国際法	○国際政治や国際法とはどのようなものか。 ・国内政治や国内法との比較で考える。 ○国際法や国際政治はどのように変容したか。 ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について考える。	a:主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 b:国際政治や国際法はどのようなものなのか，国内政治や国内法との違いに着目してまとめるなど，適切に表現している。 c:NGOの取り組みについて主体的に追究して，環境保護や人権擁護に関する課題の解決を意欲的に検討している。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	力　国際連合と国際協	○国際連合は，どのような活動をおこなっているのだろうか。 ・主要機関や専門機関の働きから考える。 ○国際連合は，どのような課題を抱えているのだろうか。 ・とくに安保理改革を材料に考える。	a:国際連盟の成立と崩壊の歴史的経緯について理解している。 b：国際連合が抱えている課題について，採決や財政の観点などから協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c：国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会，経済や環境問題に関する行動について主体的に追究して，国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	こんにちの国際政治	○冷戦の終結で，国際社会はどのように変化しただろうか。 ・対立構造の変容から，国際社会の力学の変化を考える。 ○こんにちの国際社会が緒面する課題は何か。 ・大国の動向や，国家対国家の枠組みに収まらない対立構造について考える。	a:冷戦構造の概要について理解している。 b:冷戦終結後に地域・民族紛争が多発したことについて，その要因を多面的・多角的に考察している。 c:国際社会における法の支配について主体的に探究して，各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。会生活に生かそうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	人種・民族問題	○民族をめぐる対立は，なぜ生じるのだろうか ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考える。	a:人種問題について，公民権運動やアパルトヘイト廃止を例にして理解している。 b：多民族国家としてマイノリティを抑圧しないために，多文化主義に立つことが重要であることを理解している。 c:難民や国内避難民について主体的に追究して，いかにしてその支援等に寄与することができるかなど，意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	軍拡競争から軍縮へ	○第二次世界大戦後，なぜ軍備拡大が進められたのだろうか。 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを確認する。 ○核兵器のない世界の実現のために，どのような課題があるだろうか。 ・核兵器禁止条約の採択に向けた動きを参考にして考える。	a：核抑止論の考え方について理解している。また，安全保障のジレンマのために軍縮が進めにくくなっている構造について理解している。 b：安全保障のジレンマを乗り越えて軍縮を進めていくためには何が必要となされるか，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c：核兵器禁止条約について主体的に追究して，賛成を表明した国と反対した国の主張を比較して，さらに多くの国が参加するためには何が必要なのか，意欲的に検討し解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	割　国際平和と日本の役	○戦後の日本はどのような外交を展開したのだろうか ・とくにアジア諸地域の信頼回復の経緯を確認する。 ○日本が国際社会で果たすべき役割は何か ・人間の安全保障の観点から考える。	a:戦後の主権回復と国際社会への復帰について，その経過を理解している。 b:戦後補償問題はなぜ解決しないのか，各国の主張を参考にして協働的に考察し，それらを適切に表現している。 c:日本の領土問題について，それがなぜ生じたのかを調べ，各国がどのような主張をしているかを参考にして，平和的な解決のために必要なことを多面的に考察している	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	外国為替市場のしく　貿易と国際収支	○貿易はなぜ行われているのか ・比較生産費説を検討して考える。 ○貿易の動向はどのように変化してきているのだろうか。 ・貿易収支の数値から一国の貿易の動向を確認する。 ○円相場はどのように決まるのか ・外国為替市場における需要と供給の関係を確認する。	a：自由貿易のメリットを,比較生産費説をもとに理解している。 b：自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか，協働的に考察し，それを表現している。 c：自由貿易を推進するメリットと,近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に探究して，望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	第二次世界大戦後の国際経済	○国際経済体制はどのように変化してきたか。 ・本文や図版資料を基に，歴史的な経過を確認する。 ○国際経済体制はどのような課題に直面しているか。 ・ドーハラウンドにおける先進国と途上国の対立や，二国間交渉への傾倒などから課題を考える。	a: IMF と GATT に代表される国際経済体制について，その概要を理解している。 b: ドーハラウンドにおける協議がなぜ停滞しているのか，多面的に考察している。 c:WTO が国際経済体制に果たす役割について主体的に探究して，ドーハラウンドが抱えている課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	地域的経済統合の進展	○地域的経済統合の締結は，どのように進められてきただろうか。 ・各地域の状況を確認する。 ○世界的規模で経済統合が模索されるなか，日本はどのように対応しているのだろうか。 ・多角主義の原則から二国間協定への流れ，さらにメガ FTA の挑戦といった過程を確認する。	a: FTA や EPA がどのようなものであるのかを理解している。 b: EU の統合について課題を見出し，各国の経済的格差の課題などについて協働的に考察し，適切に表現している。 c: EU の統合や TPP11 について主体的に追究して，そのなかで生じたイギリスの離脱に見られるように経済統合のひずみをどのように解消するかを意欲的に検討している。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
前期・後期	国際経済のつながりと課題	○グローバリゼーションによって経済や社会はどのように変容したか。 ・ヒト・モノ・カネが自由に移動した結果，世界はこれまで以上に緊密化したことを確認する。 ○グローバル化が進んだ世界はどのような課題に直面しているか。 ・金融危機などの影響もグローバル化し，富の偏在も世界規模に拡大したことを確認する。	a: グローバル化した世界において，多国籍企業の存在が大きくなっていることを理解している。 b: 共生の課題について，経済移民を労働力ではなく「生活人」として擁護するためにはどうすればよいか，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c:国際的な資本取引に対する金融規制について主体的に探究して，OECD における議論などを参考にしながら意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察
	発展途上国の諸課題と日本の役割	○発展途上国は経済発展のために，どのような対応をとってきただろうか ・資源ナショナリズムや新国際経済秩序樹立に関する宣言などを通して考える。 ○先進国は，途上国の経済発展のためにどのような協力をおこなってきただろうか。 ・ODA から SDGs につらなる援助と開発の過程について確認する。	a: 南北問題について，その背景と現状について理解している。 b: モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について，多面的に考察している。 c:国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究して，JICA による支援活動などについても興味を持ち，それらの課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	ワークシート 活動の観察